

令和4年度

社会福祉法人南陽会  
事業報告書

社会福祉法人南陽会

# 令和4年度

## 事業報告書目次

### 【目次】

法人運営報告	P1～7
1 法人運営の概要	P1
2 理事会・評議員会・監事監査の開催	P2～3
3 研修関係	P3～4
4 補助金関係	P4
5 寄付	P4
6 登記事項・定款変更	P4
7 人事管理	P5
8 福利厚生	P5
9 財務管理	P6
10 主な施設・設備等の整備	P6
11 法人全体の共通の取り組み	P6～7
各事業所 事業報告	P8～33
1 障がい者支援施設あかまつ荘	P8～13
2 下郷作業所ホイップ	P14～17
3 すみれ荘	P18～21
4 只見地域活動支援センターじねえんと	P22～24
5 みなみあいづ障がい者相談センター	P25～28
6 こまどり荘	P29～32

# 《社会福祉法人南陽会 法人運営報告》

## 1、法人運営の概要

令和4年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予定された行事等については外部の方の参加を取りやめて事業所内での活動行事に切り替えざるを得ない状況であった。そのような中でも利用者支援に関しては感染防止を行いつつ最大限に取り組み南陽会の運営理念及び運営方針に従い、且つ南陽会の年度事業計画に基づき、福祉情勢の変化に即応した主体的で安定した運営を目指し実施した。施設体系及び管理体制づくり、サービス事業の拡充、財務確保・経営事務の精度向上を行い、利用者へより充実したサービス提供を行うために努力を行った。また、理事会、評議員会では書面評決という選択肢もあった中で、委員の方全員の体調等の状況を確認しながら三密を避けられる体制を整えながら、南陽会の定款に基づいて会議を実施し法人運営に努めてきた。

利用者サービス事業については、障がい者支援施設あかまつ荘では「施設から地域へ」を前年同様に主眼に置いて地域生活移行に取り組む予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で体験利用等も中止となり地域移行することが出来なかった。ただし、新型コロナウイルス感染症の対応として、緊急的なショートステイ利用の希望があった場合には、感染状況等を勘案して利用日前2週間の健康管理と行動チェックを実施していただき、特変が無ければ利用開始するという事を定めた。

事業運営に関しては、入所施設1、通所事業所1、グループホーム6、相談事業所1、市町村委託事業（只見町）通所事業1を昨年同様に行ったが、グループホームさくら荘に関しては昨年度より利用者がゼロとなったことから引き続き休所としている。

各事業所の詳細で報告すると、障がい者支援施設あかまつ荘においては、「施設から地域へ」を主眼に置いて地域生活移行を目指したが、新型コロナウイルス感染症の感染という事も危惧し実施出来なかった。利用状況については4月から45名満床で行ってきたが、11月に利用者1名が疾病にて亡くなり3月までは44名の利用となっていた。3月下旬から支援学校卒業生1名の入所を予定していたが、急遽措置制度の関係で入所が見送られた。

グループホームに関しては11月にひまわり荘の利用者が1名退所となった事から空きが出来た為早速に入所検討している。さくら荘に関しては利用希望者が無い事から昨年引き続き休所とした。

下郷作業所ホイップに関しては、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業と二つの事業を行い、昨年同様に就労事業所の役割で活動してきた中で、支援学校卒業生の受入に関しても新型コロナウイルス感染症における対応を見極めつつ、万全の対策に基づいて実施しました。そのような中で、就労1名が勤務事業所において不適切と思われる行動をしてしまい離職せざるを得なくなってしまうました。今後は障がいの重い方の利用も視野に入れて、通所の生活介護事業所等の運営も検討して行きたい。

只見町地域活動支援センターについては、契約者は定員を超えているが、日常的に利用されている方が一日10名程度に増加しつつあります。令和4年度は只見町のプロポーザル実施後3年目となり、事業の見直しを図るべく、只見町とも協議し令和5年度より福祉センターの清掃業務を行う様にしました。

こまどり荘に関しては、利用者1名の空きがあったところに、最年長の方が生活するのが厳しくなり介護事業所へ移行され2名の空きが出来た。また、そこに只見在住の女性の方が入所され3月時点で1名の空床となっております。その様な中で、男性利用者1名は介護施設の介護助手として一般就労を継続して行っている。その他の方5名の方は特に変わりなく生活できており、日中は只見町地域活動支援センターへ通っている。

経理部門では昨年同様、南会津町の宍戸会計事務所と契約を行い、月に一度の経理及び財務状況の把握に努め経理及び庶務の正確化と効率化を図った。

## 2、理事会・評議員会・監事監査の開催

理事会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回理事会	令和4年6月9日	理事6名 監事2名	令和3年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について 令和4年度社会福祉法人南陽会第1回評議員会の開催について
第2回理事会	令和4年12月22日	理事5名 欠席者1名 監事1名	社会福祉法人南陽会経理規程の一部改正について 預り金等管理要領の一部改正について 社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第2号)について
第3回理事会	令和5年2月22日	理事6名 監事1名	除雪用ローダー納入業者の選定について
第4回理事会	令和5年3月29日	理事5名 欠席者1名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人南陽会給与規程の一部改正について</li> <li>社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について</li> <li>職員の長時間勤務に対する産業医の面接指導実施要領の制定について</li> <li>賃金支弁職員の雇用等に関する規程の一部改正について</li> <li>令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第3号)について</li> <li>令和5年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について</li> <li>令和5年度社会福祉法人南陽会収支予算(案)について</li> </ul>
評議員会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回評議員会	令和4年6月22日	評議員6名 欠席者1名 監事1名	令和3年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について
第2回評議員会	令和4年12月22日	評議員5名 欠席者2名	令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について
第3回評議員会	令和4年3月29日	評議員6名 欠席者1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第3号)(案)について</li> <li>令和5年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について</li> <li>令和5年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について</li> </ul>
法人監査	開催日	出席者人数	議題
第1回法人監査	令和4年6月3日	監事2名	法人監査

## 3、研修関係

開催月	研修内容	出席者
4月	福島県知的障害施設協会及び県サポート協会理事会	施設長
	福島県知的障害施設協会総会	
	福島県精神保健福祉協会監事監査	
5月	南会津精神保健福祉協会役員会(書面開催)	施設長
	県社協障がい児者連絡協議会総会(書面開催)	
	県サポート協会代議員総会	
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者

	安全運転管理者協会総会（書面開催）	施設長
	只見町社協評議員会	只見地活センター管理者
6月	東北地区知的障害者福祉協会臨時総会（Zoom開催）	施設長
	南会津町社協評議員会	
	日本知的障害者福祉協会評議員会	
	南会津地方地域自立支援協議会運営会議	
	下郷町4法人会議	施設長、ホイップ管理者
7月	南会津地方地域自立支援協議会総会	施設長、相談事業所職員
8月	愛知県知的障害者福祉協会研修打ち合わせ（Zoomにて）	施設長
	安全運転管理者講習会	
9月	愛知県知的障害者福祉協会講演会（Zoomにて）	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	昭和電工記念品贈呈式	施設長、ホイップ管理者
	日本中央競馬馬主協会贈呈式	理事長、施設長
10月	ペアレントプログラム事業（県委託事業）計6回実施	施設長、相談事業所職員
11月	福島県監査	施設長
	日本財団実地監査	
	基幹センター打ち合わせ	施設長、相談事業所職員
12月	福島県知的障害者福祉協会理事会、施設長・管理者等第2回総会	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	下郷町介護保険協議会	施設長
	南会津町社協評議員会	
	ペアレントプログラム事業終了式	施設長、相談事業所職員
	労働基準監督署実地調査	施設長
1月	下郷町四法人会議	施設長、ホイップ管理者
2月	南会津町成年後見センター運営協議会	施設長
	南会津町虐待調査	
3月	下郷町4法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	南会津町社協評議員会	施設長
	只見町社協評議員会	只見地活センター管理者

#### 4、補助金関係

補助事業名	内容	交付決定日	補助金額総額	事業完了品日
日本中央競馬馬主協会福祉財団	下郷作業所ホイップ 軽トラ	令和4年10月1日	890,000円	令和5年3月18日
南会津町社会福祉協議会	コロナ禍障がい児者事業所応援交付金	令和4年8月26日	30,000円	令和4年8月31日
南会津町	原油価格高騰対策事業補助金	令和5年1月12日	202,000円	令和5年2月28日
	障がい者入所支援施設感染防止対策事業補助金	令和4年9月12日	970,000円	令和4年9月30日
福島県	社会福祉施設等物価高騰対策事業補助金	令和5年3月20日	817,000円	令和5年3月31日

## 5、寄付

項目	日時	内容
保護者 大塚恵代子 様	令和4年5月26日	150,000円
昭和電工アルミ缶リサイクル大賞副賞	令和4年7月28日	20,000円
室井ミツ子 様	令和4年11月26日	リンゴ1箱
昭和電工	令和4年9月30日	ラベルプリンター1台 銅線剥離機2台、電気ポット1台
田島ロータリークラブ様よりクリスマスケーキ寄贈	令和4年12月25日	全利用者様分(ケーキ・プリン各100個)
空き缶の寄贈(あかまつ荘、ホイップに寄贈)	常時	アルミ缶リサイクル活動に使用

## 6、登記事項・定款変更

月日	項目	金額
令和4年3月31日	労働基準監督署へ時間外労働に関する協定書の届け出提出 労働基準監督署へ就業規則の変更届	
令和4年4月19日	南会津町へ軽自動車税減免申請書提出	
令和4年4月19日	福島県税事務所へ自動車税減免申請書提出	
令和4年4月20日	下郷町へトラクター(小型特殊)減免申請書提出	
令和4年6月24日	法務局へ資産変更登記提出(郵送、速達)	412,249,485
令和4年6月27日	田島税務署へ公益法人の損益計算書を提出	
令和4年6月30日	現況報告書、監事監査報告書を県に提出	

## 7、人事管理

人数	(退職者・新規者・異動・正規職員採用など)
① 退職者6名 (臨時3名)	<u>7月退職</u> 看護師(あかまつ荘)
	<u>9月退職</u> 世話人(すみれ荘)
	<u>3月退職</u> 主任生活支援員
	任期満了
	<u>3月退職</u> 作業指導員(あかまつ荘パート) 作業指導員(あかまつ荘パート) 作業指導員(あかまつ荘フルタイム)
② 新採用者6名	正規職員採用
	<u>4月採用</u> 生活支援員(あかまつ荘) 生活支援員(あかまつ荘) 相談支援員(相談センター)
	臨時雇用
	<u>8月採用</u> 作業指導員(あかまつ荘パート)
	<u>1月採用</u> 世話人(すみれ荘)
	<u>3月採用</u> 看護師(あかまつ荘パート)
③ 人事異動	異動兼内部昇格
	こまどり荘生活支援員 → じねえんと生活支援員兼管理者 こまどり荘兼じねえんと管理者 → こまどり荘管理者

職員採用試験	正規職員採用試験
	令和5年3月3日(金) AM10:00～面接試験 AM10:30～筆記試験
	令和5年3月15日(水) 結果通知 ※令和5年4月1日採用
	臨時職員については応募があり次第随時面接を実施した。

## 8、福利厚生

項目	内容
健診・予防注射代負担	定期健康診断及びインフルエンザ予防注射代を負担した。
職員クラブへの助成	新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブへの助成は行わなかった。
職免休暇、資格報奨金	資格取得推進のため研修日の職免休暇付与、資格取得報奨金を支給した。
職員処遇の配慮	職員用駐車場を借り上げた。業務災害総合保険に加入した。 制服及び作業着の支給を実施した。 新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キットを一人1箱支給。

## 9、財務管理

項目	内容
会計管理体制の整備 ・運用状況の点検	安定的に継続した活動が行えるように、宍戸会計事務所に財務会計に関する事務（決算事務、帳簿）の定期的なサポートを委任した。

## 10、主な施設・設備等の整備

項目	内容
あかまつ荘	井戸ポンプを交換、作業訓練棟などLED化に交換
ホイップ	作業場兼倉庫のLED化に交換
すみれ荘	ひまわり荘のLED化に交換
相談センター	LED化に交換

## 11、法人全体の共通の取り組み

### (1) 人権擁護委員会

#### ①活動内容

- ・「職員倫理綱領」、「職員行動規範」、「虐待防止マニュアル」の周知、定期的な聞取り、点検を実施
- ・虐待防止チェックリストの確認を職員会議の中で周知した。
- ・障がい者施設関係の権利擁護に関する取り組みについて協力をした。

#### ②年間実施内容

開催月	内容	備考
毎月	各事業所にて人権擁護に関する内容を確認	全職員
6月	福島県障がい児者福祉施設協議会人権倫理委員会	担当者研修に参加、伝達講習の実施
1月	福島県知的障害者福祉協会人権倫理委員会へのアンケート協力	担当者が協力

## (2) 苦情解決委員会

### ①活動内容

- ・各事業所にて毎月のスタッフ会議にて苦情受付、内容検証、経過追跡、最終結果の確認を行い、適切な対応に努めた。第三者委員会については、あかまつ荘が新型コロナウイルス感染症のクラスター施設となつてしまい開催できなかった。

### ②年間実施内容

開催月	内 容	備 考
毎月	各事業所にて苦情解決に関する内容を報告、確認	全職員
11月	福祉サービスに関する苦情解決研修会	担当者研修に参加、伝達講習の実施

## (3) 法人全体その他の委員会

名 称	業 務 内 容	実施時期
給食委員会	食事に関すること（給食委員）	毎月のスタッフ会議
保健委員会	保健衛生、感染症予防に関すること（保健委員）	毎月のスタッフ会議

## (4) 法人全体・共通の会議・研修等

名 称	業 務 内 容	実施時期
＜法人会議・研修＞		
職員会議	法人全職員に関する会議（全職員）	9月、3月
あかまつ荘職員会議	あかまつ荘の職員会議（支援員、事務厨房、看護・栄養士）	毎月
法人全体研修	法人全職員での研修（全職員）	11月
代表者会議	法人事業の運営会（理事長、管理者、専門生活員、主任生活員）	毎月
＜事業所毎の会議・研修＞		
支援会議	利用者支援に関する会議（各事業所内の職員）	毎月
スタッフ会議	各事業所での行事予定、課題検討（各事業所内の職員）	毎月
伝達講習会議	各事業所での伝達講習（各事業所内の職員）	毎月
申し送り	各事業での朝・夕の申し送り（各事業所内の職員）	毎日
＜利用者、保護者の会議＞		
自治会	利用者自らの主体的な企画・運営（利用者、担当職員）	毎月
保護者会	保護者の親睦・交流、事業所支援 ●4月9日：役員会 ●8月12日：花火大会 ●11月20日：奉仕活動●12月25日：クリスマス・忘年会	4回

## (5) 公益的取組

下郷町の四か所の社会福祉法人(南陽会、下郷町社会福祉協議会、南会津会、明智福祉会)合同で公益的取組を今年も行った。(4年目の取り組み)

### ・会議打ち合わせ

令和4年3月17日…令和4年度の事業打合せ及び活動計画について

令和4年6月10日…令和4年度の活動についての話し合い。

令和5年1月26日…令和4年度の活動報告及び令和5年度の実施計画について

令和5年3月17日…令和5年度の実施状況について

- 1) 買い物支援サービス…高齢者のみの世帯及び障がい者世帯を対象に、下郷町内のスーパー等へ送迎を行った。期間：令和4年4月8日～12月24日まで

法人名	延べ利用者	実利用者	送迎日数
下郷作業所ホイップ	94名	12名	15日間
(特養) 下郷ホーム	133名	12名	13日間
(特養) レジデンスふじの郷	108名	8名	16日間
下郷町社会福祉協議会	180名	18名	16日間
合 計	515名	50名	60日間

- 2) サマーショートボランティア

当初は町内の4法人の事業所において、小学生、中学生、高校生を対象に介護ボランティア等の体験を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から下郷町社会福祉協議会内で「福祉の仕事学習会」として、レジデンスふじの郷の佐瀬園長を講師として福祉に関する勉強会を行い、その後身体的ハンディキャップの疑似体験を実施した。

実施日：令和4年7月24日(日) AM9:00～PM0:00

場 所：下郷町社会福祉協議会内

参加者：8名(中学生7名、高校生1名)

《各事業所 事業報告》

## 障害者支援施設 あかまつ荘

### 1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

### 2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1	1				
	主任生活支援員	1	1				
	生活支援員	7	7				
	作業指導員	10	4		6		非常勤：8時間以内勤務
	事 務	4	4				
	看 護 師	1	1				
	栄 養 士	1	1				
厨 房	6	5		1			
合 計		32	24	1	7		

(令和5年3月末現在)

### 3、利用者の状況（令和5年3月末現在）

#### (1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
施設入所支援	27人	17人	44人
生活介護	25人	12人	37人
短期入所	0人	2人	2人

#### (2) 障害状況

ア障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	11人	42人	2人	0人	55人
生活介護	11人	37人	2人	0人	50人
短期入所	1人	1人	1人	0人	3人

※重複障害者を含む

## イ障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	0人	1人	16人	10人	17人	0人	4.25
短期入所	0人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	4.50

## (3) 年間利用状況

事業名/利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	365日	45人	16,310人	99.2%
生活介護	243日	45人	9,526人	87.1%
短期入所	365日	4人	61人	4.1%

## 4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

## 5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	園周辺の環境整備、アルミ缶リサイクル、手工芸等の創作活動を提供した
	レクリエーション ドライブ	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した コロナ自粛が続いているため、気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足などが重なり実施できなかった。

「さくら班」	機能訓練 生活介護訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動 食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	レクリエーション	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した コロナ自粛が続いているため、気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足などが重なり実施できなかった。

## 6、主な行事

4月	お花見会（あかまつ荘利用者のみ参加） 保護者会総会⇒書面決議開催	10月	南陽会秋祭り⇒中止
5月	障がい者総合体育大会⇒中止	12月	クリスマス会・忘年会 （あかまつ荘利用者のみ参加）
7月	七夕会	1月	団子さし
8月	花火大会（あかまつ荘利用者のみ参加）	〃	新年会
10月	お月見会	2月	節分
11月	収穫祭	3月	ひな祭り会

## 7、研修

実施月	研修内容
<b>外部研修</b>	
6月	地域介護専門職員研修（2名）
7月	職場研修担当職員研修（1名） 苦情解決担当者研修（1名）
9月	安全運転管理者講習会
10月	福祉職員キャリアパス対応初任者研修（1名） 特定給食施設等講習会（オンライン研修） 自衛消防隊員教育（1名）
1月	東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会 東北フォーラム（1名）
<b>内部研修</b>	感染症予防対策研修（オンライン研修）に参加し、学んだ内容について内部研修の場を設定し、全職員に伝達し共有した
<b>自己啓発</b>	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

## 8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	コロナウイルス感染防止のため、ボランティアへ協力依頼はしなかった
『ボランティア活動（奉仕活動）』	コロナウイルス感染防止のため、ボランティア活動は実施しなかった

## 9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	保護者合同奉仕作業⇒中止
9月～10月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）
11月	保護者合同奉仕作業（クモの巣払い、雪囲い、園周辺の清掃）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

## 10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
(2) 感染症対策 ・コロナ感染者 (令和4年12月5日～ 令和5年2月3日) 利用者：45名 職員：8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の体調管理・マスク着用・手指消毒・施設内消毒・行動自粛・面会制限等予防行動に努めていた</li> <li>感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた</li> <li>コロナワクチンについては、接種を希望する利用者・職員全員5回目接種まで終了した。</li> <li>キャップ、フェイスシールド、防塵マスク、防護服、マスク手袋着用にて利用者支援を行い、感染拡大防止に努めた。</li> </ul>
(3) 安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

### 保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員/(人)		延診察日数/(日)		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	6	15(救外7)	230	77(救外7)	38.3	5.1
精神科	2	30	170	156	85	5.2
耳鼻科	0	2	0	16	0	8
皮膚科	0	4	0	8	0	2
婦人科	0	0	0	0	0	0
眼科	0	2	0	4	0	2
外科	0	1	0	6	0	6
口腔外科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	2	5	117	30	58.5	6
整形外科	1	4	23	28	23	7
脳神経内科	0	1	0	5	0	5
脳神経外科	0	10	0	10	0	10
計	11	74	540	340	204.8	56.3

## 利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

### <利用者>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R4. 5. 18	17名	乳がん検診	保健衛生協会
R4. 6. 11	13名	子宮がん検診	保健衛生協会
R4. 9. 21	67名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R4. 9. 21	67名	心電図	保健衛生協会
R4. 9. 21	67名	血液検査	保健衛生協会
R4. 9. 21	67名	血液検査	保健衛生協会

### <職員>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R4. 9. 21	45名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R4. 9. 21	45名	心電図	保健衛生協会
R4. 9. 21	45名	血液検査	保健衛生協会
R4. 9. 21	45名	尿検査	保健衛生協会
R4. 9. 21	45名	視覚・聴覚検査	保健衛生協会
R4. 9. 21	35名	便潜血検査	保健衛生協会
R4. 9. 21	26名	胃透視検査	保健衛生協会
R5. 3. 20	12名	胸部レントゲン(夜勤実施者)	保健衛生協会
R5. 3. 20	12名	血液検査(夜勤実施者)	保健衛生協会

## 1 1、給食管理

① 利用者のニーズにあった、喜ばれる食事の提供。

利用者にとって、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。

利用者、個々の状態や疾病に適した食事の提供に努めた。

4月	お花見会(保護者会総会):中止	10月	秋祭り:中止
5月	子どもの日:ちまき風おこわ	11月	収穫祭:しんごろう、豚汁
6月	ドライブ行事(貯湯槽清掃)・誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会(お弁当)
7月	七夕・土用丑の日	1月	お正月:こづゆ、おせち盛他・団子さし
8月	花火大会	2月	節分料理
9月	受水槽清掃:外注弁当、誕生会	3月	ひな祭り、誕生会

② 個々の咀嚼状況に合わせた食形態の提供

食事形態	人数 (R5・3/31現在)
普通食	23名
きざみ食	6名
ミキサー食	15名
合計	44名

③ 食の安全への取り組み
利用者・職員共に衛生面に心がけ、食中毒・感染症対策に努めた <実施内容> ●関係職員の月1回の検便検査の実施（10月～3月においてはノロウイルス検査の追加） ●取引業者の自主検査の提出依頼 ●毎日の水質検査、食材検収簿の記載、調理員・配膳者の衛生、体調チェック（調理員）等

※施設内コロナ感染クラスター対応に伴い、事務所側への感染防止対策として利用者全員居室配膳とし、使い捨ての食器にて対応した。 期間：令和4年12月5日～令和5年2月3日

## 12、防災

<b>【基本方針】</b>	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
<b>【実施内容】</b>	
<体制整備・減災のための事前対策に努めた>	
①立地条件と災害予測 ②災害時体制整備 ③情報整理 ④基準等の策定 ⑤事前準備・安全対策 ⑥教育・訓練	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した 役割分担、連絡体制を整備した 施設利用者情報を把握した 避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した 食糧等備蓄、施設の定期点検 職員への防災教育、防災訓練を実施した

### 【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
9	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・避難経路・危険箇所の確認 ・防災用具の点検・減災のための事前対策
12	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
2	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
3	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備

## 13、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた

# 令和4年度 下郷作業所ホイップ 事業報告

## 1、事業概要

就労移行支援	就労に必要な知識や体力を身に着け、一般企業への就労と自立を目指して取り組んだ。
就労継続支援B型	自分達で作ったものを買ってもらうことで、賃金を得る喜びを感じると共に地域に暮らす一員としての役割を知ってもらい、その上で一般就労に結び付けられるような支援を目指し取り組んだ。

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
下郷作業所 ホイップ	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1		1			
	事 務 員	1	1				
	栄 養 士	1			1		
	就 労 支 援 員	1	1				
	生 活 支 援 員	4	4				臨時職員
	職 業 指 導 員	3	2		1		臨時・パート職員
合 計		11	8	1	2		

(令和5年3月末現在)

## 3、利用者の状況 (令和5年3月末現在)

### (1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
就労移行支援 (パン班)	0人	0人	0人
就労移行支援 (農耕班)	0人	0人	0人
就労継続支援B型 (パン班)	4人	4人	8人
就労継続支援B型 (農耕班)	13人	11人	24人

### (2) 障害状況

#### ア 障害名

事業名/種別	身 体	知 的	精 神	そ の 他
就労移行支援	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	3人	23人	6人	32人

#### イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
就労移行支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	0人	4人	8人	5人	2人	1人	12人

### (3) 年間利用状況

事業名/利用項目	開 所 日 数	定 員	延べ利用人数	利 用 率
就労移行支援	220日	6人	0人	0%
就労継続支援B型	220日	26人	4,508人	78.8%

#### 4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議を実施した
パン製造・販売活動	下郷物産館、道の駅(下郷・田島)、合庁、病院等への納品。 企業や役所等への販売・納品の他、月1回南郷・只見方面と館岩方面への納品・販売と特売日の実施。
農作業・リサイクル活動 手工芸品の販売 委託業務	野菜やよしず、手編みカゴ等の手工芸品の店舗販売と物産館への納品。 アルミ缶とペットボトルのリサイクル活動。「株式会社おくや」より、落花生栽培と殻むき作業の委託と大内宿「三澤屋」よりネギの皮むき作業の委託。また、荒川産業より銅線剥離の作業を受けている
生活相談	相談センターの協力も得ながら、個々の相談に応じる。相談という形に拘らず、作業の空いた時間や利用者の話しやすい時に話しを聞くようにした
健康管理	その日の利用者個々の状態によって、検温、血圧測定等を行ないながら対応した。また、コロナ対策として毎朝の検温と手指消毒の徹底
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	避難訓練の実施、自然災害等における避難経路、危険箇所の確認した
職員の資質の向上 (研修の強化)	法人研修、外部研修、取引業者が行う商品開発勉強会へ参加した 作業内容の充実を図る為、6次化プランナーの方や会津豆倶楽部の代表者との商品開発や、作物の栽培についての話し合いを行ないアドバイスを頂いた
地域交流、ボランティア交流	下郷町主催のいきいきサロンや地域イベントでのパン・手工芸品販売
送迎の支援	湯野上地区、中妻地区、檜原地区、十文字地区、枝松地区、白岩地区、長野地区、田部原地区、田島地区の朝夕の送迎対応した
利用者の工賃について	日額 500 円×実働日数
障害者優先調達推進法に則り、 物品や役務の提供	県の障がい者就労施設等物品等調達に登録し、情報提供した。関係機関のホームページにて閲覧可
一般企業への就労移行支援	ハローワーク、就労生活センターふろんていあの協力を得ながら職場実習、実習受け入れ先の開拓。

#### 5、班別活動

	大項目	小科目	活動実績
農作業班	農業	野菜栽培 地域特産品づくり	芋類、葉菜類、玉葱、豆類、千成ほおずき等の栽培 店舗販売と物産館納品
	リサイクル活動	アルミ缶 ペットボトル	洗浄、乾燥、潰し後、昭和電工が回収。銅線剥離後荒川産業へ納品 洗浄・乾燥後、ペットボトルリサイクル機へ
	創作活動	ヨシ編み カゴ編み	店舗販売と物産館へ納品。イベントでの販売や注文販売
	委託業務	落花生栽培 ネギの皮むき	喜多方市にある製菓業者より委託を受け、落花生の栽培や殻剥きした完成品の納品。大内宿三澤屋のねぎの皮むき、納品。
パン製造班	パン製造	仕込み・分割・ 成型・焼成・ 包装・配達	<納品・販売先>下郷町物産館、下郷・湯野上保育所、あかまつ荘、祇園会館、あたご作業所、合庁、南会津病院御蔵入り交流館、南会津役場、南会津社協、下郷町社協、道の駅(田島・下郷)、毎月1回特売日実施と館岩方面・只見方面へ納品・販売 ※イベント等での販売や納品
	パン販売	接客 販売	
就労移行支援事業	就労学習・面接支援		履歴書の書き方や面接練習
	一般常識の習得		接客マナーや言葉遣い等
	実習・体験活動支援		援農実習
	求人活動支援		就労支援会議等への参加
	相談支援		就労定着支援

## 6、主な行事

4月	お花見会(会食のみ)
8月	バーベキュー(外注弁当で代替)
12月	クリスマス会(会食のみ)
2月	節分(会食のみ)
2月	団子さし

## 7、研 修

外部研修	障がい者福祉職員研修 衛生推進者養成研修 HACCP 研修会
内部研修	法人研修参加

## 8、ボランティア活動

『ボランティア交流』	公益的取組みによる買い物支援サービス
『ボランティア活動(奉仕活動)』	一人暮らしや高齢者、障がい者世帯を対象とした方々の買い物支援を行なった

## 9、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
4 月	施設周辺のゴミ拾い等
8 月	店舗、厨房内、食堂、作業室内大掃除
1 2 月	大掃除
そ の 他	施設周辺の除草作業

## 10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	手洗い・うがいの励行、利用者の体調に応じての血圧・体温測定
(2) 感染症対策	手洗い・うがいの励行、利用者・職員の体調チェック 新型コロナウイルス感染防止のため、通所前の体温測定の徹底、利用時のマスク着用及び手洗い・うがいの励行。
(3) 安全衛生対策	手洗い・うがいの励行、厨房作業時の手袋とヘアキャップの着用
(4) 職員の医療的ケアの向上	嘱託医や看護師からの指導、助言

### 11、食品衛生管理

<b>【基本方針】</b>
○食品衛生管理に細心の注意を払う ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
<b>【内容】</b>
① 食の安全に取り組んだ 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた <実施内容> 手洗い・うがい・消毒の励行、マスク着用の徹底、利用者・職員の体調確認、体調不良時の対応、衛生管理の徹底、トイレ掃除の励行

### 12、防 災

<b>【基本方針】</b>
○災害(火災、地震、風水害等)の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
<b>【内容】</b>
避難訓練、消防署の立ち入り調査、職員による避難誘導の確認、避難誘導時の危険箇所の確認

**【年間防災活動】**

月	月別防災項目	実施内容
4	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
5	職員の避難訓練	自然災害を含めた、地区の避難場所と避難経路の確認
6	避難訓練	非常口の確認
8	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
9	消防署立ち入り調査	消防署員による非常ベル等の点検と確認
11	暖房器具点検	暖房器具の使用前の安全点検
3	暖房器具の点検と掃除	職員による確認と掃除

**13、事故防止**

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を図った。
送迎バス等車両の運転	車両の点検、送迎担当職員の安全確認に努めた 送迎車両運転者講習会への参加

# 令和4年度事業報告書すみれ荘

## ①事業所概要

- 1) 場 所 福島県南会津郡下郷町大字湯野上字居平乙836番地3-2  
 共同生活住居 4ホーム

共同生活援助 すみれ荘 定員 5名	下郷町湯野上字居平乙836-3-2 主たる事業所と共同生活住居
共同生活援助 たんぽぽ荘 定員 6名	南会津町田島字田部原41-2 共同生活住居
共同生活援助 ひまわり荘 定員 5名	下郷町豊成字檜原2489 共同生活住居
共同生活援助 いちごハウス 定員 5名	南会津町田島字北下原31-2 共同生活住居

- 2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 21名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活をおくる居住において、入浴・排泄の援助、食事や洗濯、掃除などの家事、生活に関する相談を提供する。
-----------------------	--

- 3) 職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管 理 者	1	1				
	サービス管理責任者	1		1			
	生 活 支 援 員	2		2			
	世 話 人	3			3		非常勤：7時間勤務
合 計		7	1	3	3		

## ②基本方針

障がい者の地域生活移行の一手段として、介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）における共同生活住居を設置運営し、利用者の就労継続並びに社会生活能力の向上に努め、自立した地域生活移行を推進する。

## ③主な活動内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援の提供。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護。
夜間体制支援	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘・サービス管理責任者専用携帯・警備会社委託）、安全な生活を提供。
生活相談	利用者・家族の方の生活全般の相談援助。
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障害程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防に努める。

緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき、事前対策や定期防災訓練を実施。
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施。
地域住民との連携	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流をとおして障がいへの理解が深まるよう努める。
余暇活動	余暇の有意義な過ごし方について支援を行う。
送迎の支援	買物支援、定期受診など送迎支援の提供。

#### ④主な行事

4月	お花見・保護者会総会・外出支援	10月	南陽会秋祭り・外出支援
5月	食事会・外出支援	11月	芋煮会・外出支援
6月	ドライブ・外出支援	12月	クリスマス忘年会・外出支援
7月	田島祇園祭・外出支援	1月	新年会・外出支援
8月	納涼会（バーベキュー）・外出支援	2月	ドライブ・外出支援
9月	グループ旅行（1泊2日）・外出支援	3月	自治会（食事会）・外出支援

※新型コロナウイルスの影響により、実施出来ない行事もありましたが、代替えでドライブや各ホームでの食事会を増やしました

#### ⑤日課表

時間	平日の流れ	休日の流れ
6:00	起床の支援・髭剃り支援・バイタルチェック	起床の支援・髭剃り支援・バイタルチェック
7:00	朝食・活動準備支援	朝食・活動準備支援
9:00	日中活動に参加	余暇支援
12:00	昼食	昼食
13:00	日中活動に参加	余暇支援
16:00	帰宅・入浴・日常生活支援等	余暇支援
18:00	夕食	夕食
19:00	余暇支援	余暇支援
20:00	夜間処置・服薬支援	夜間処置・服薬支援
21:00	就寝	就寝
夜間	常時連絡体制 *夜勤業務（介護看護支援が必要な場合）	常時連絡体制 *夜勤業務（介護看護支援が必要な場合）

#### ⑥職員勤務時間

職種	区分	就業時間
管理者	日勤	8:30～17:30
サービス管理責任者	日勤	8:30～17:30
生活支援員	日勤	8:30～17:30
世話人	朝勤務	6:00～9:30
	夕方勤務	17:00～20:30

### ⑦研修

外部研修	①福祉職員階層別研修、障害別課題研修、制度に関する研修等 ②給食施設指導研修、感染予防研修、肥満等予防研修等 ③サービス管理責任者研修、防火管理に関する研修等 ④グループホーム関係研修、視察研修 ⑤法人職員全体研修（人権擁護、法制度、防災、感染予防）
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認、反省
自己啓発	①講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

### ⑧ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流をとおして障がいへの理解が深まるよう努める。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾いなど）に努める

### ⑨環境美化事業

活動時期	活動内容
4月・9月・12月	各ホーム内清掃・周辺清掃・雪囲い・大掃除
その他	ホーム内清掃・トイレ掃除は世話人・利用者（当番制）で実施

### ⑩保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進します	○日々の健康状態の把握、家族と連携し、健康維持に努める ○ご家族、病院との連携、体調変化に応じ、速やかな対応 ○利用者へ健康診断（血液検査・胸部レントゲン検査等）を実施、必要時、嘱託医より結果説明・指導を受ける。
(2) 感染症対策に努めます	○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応に努める。 ○発生時、状況把握に努め、重症・合併症の予防に努める。
(3) 安全衛生に努めます	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整える。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努める。
(4) 職員の医療的ケアの向上を目指します	○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する研修を行い、知識・技術の向上を目指す。

### ⑪給食管理

<b>【基本方針】</b>
○利用者個々の状態や疾病に適した食事の提供 ○利用者のニーズに合った喜ばれる食事の提供 ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
<b>【内容】</b>
①楽しみのある食事を提供する。 利用者の声に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努める。 季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を伝えていく。
②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供する。 一人ひとりの喫食状況に合わせた食形態を提供し、ソフト食の導入に努める。
③食の安全に取り組む。 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努める。

## ⑫防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
【内容】
<p>&lt;体制整備・減災のための事前対策&gt;</p> <p>①立地条件と災害予測、情報整理、基準等の策定、事前準備・安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホームの状況把握と予測、食料等備蓄、施設・設備の定期点検、利用者情報の把握</li> </ul> <p>②災害時体制整備、教育・訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担、連絡体制整備、職員の招集、防災教育、防災訓練の実施</li> </ul> <p>&lt;災害発生初動期の対応&gt;</p> <p>①災害情報の収集と発信と消火・避難・点検・救護・報告活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報の収集と判断、避難誘導、予防・初期消火活動、応急手当、利用者・施設の状況報告</li> </ul>

※上記の対応について、定期的な避難訓練を通して確認していく。

※防災マニュアルを定期的に全職員で点検・整備していく。

### 【年間防災活動】

月	月別訓練内容	計 画
4	防災マニュアルの整備・点検 防火設備の確認	防災マニュアル・避難者名簿・防火設備の確認と点検、体制整備・減災のための事前対策の点検
6	避難訓練（避難誘導）	避難場所、経路の確認防災用具の確認
8	応急処置・災害知識に関する研修会	講師の依頼
9	避難訓練（避難誘導）災害訓練	地震を想定した訓練
11	避難訓練（避難誘導）災害訓練	土砂崩れを想定した訓練、危険箇所の確認
3	地域消防との連携した災害訓練	地域交流と連携

## ⑬事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、救急救命等必要な研修の機会を設けるとともに、ヒヤリハットレポートなどを活用し職場内での安全対策強化を進める。
緊急時等における対応方法	共同生活援助の提供を行っているときに利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講ずるとともに、管理者に報告するものとする。
夜間（夜勤）体制支援	夜間及び深夜の時間帯を通じて、緊急事態の対応に常時連絡体制の確保（あかまつ荘・サービス管理責任者専用携帯・警備会社委託） 夜間帯の介護支援（排泄・移動など）が必要な場合の夜勤業務の実施。
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努める。

# 令和4年度 只見地域活動支援センターじねえんと事業報告書

## 1、事業概要

地域活動支援センターⅢ型	地域活動支援センター「じねえんと」は障害者総合支援法に基づいた市町村が実施する、地域生活支援事業の委託を受けて設置されたものである。地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活を実現するための相談や支援を行うとともに、生産活動や創作的活動及び地域交流活動、日常生活活動への支援を行うことで、障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。
--------------	--

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
只見地域活動支援センターじねえんと	管理者兼生活支援員	1		1			
	作業指導員	2	2				非正規職員
合 計		3	2	1			

(令和5年3月末現在)

## 3、利用者の状況（令和5年3月末現在）

### (1) 利用者数

	男性（児童）	男性（成人）	女性（児童）	女性（成人）	合計
只見地域活動支援センターじねえんと	1人	15人	0人	15人	31人

### (2) 障害状況

#### ア 障害名（重複者含む）

	身体	知的	精神	その他
只見地域活動支援センターじねえんと	3人	20人	13人	1人

#### イ 年齢層

	0～ 5歳	6～ 12歳	13～ 18歳	19～ 30歳	31～ 50歳	51～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢
只見地域活動支援センター	0人	0人	1人	4人	15人	7人	4人	44歳

### (3) 年間利用状況

	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
只見地域活動支援センターじねえんと	224日	20人	1,511人	33%

## 4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
軽作業	台巾作りを中心に手差し、バンダナキャップ、エコバッグ等の裁縫や

	アクリルたわし作りを行なった。
花壇管理委託業務	電源開発（株）より委託を受け、6月～10月までの間、月に一度の展示館周りの花壇の維持管理（草むしり、追肥等）を行なったが、今年度は展示館外壁工事のため途中で中止となった。
凍み餅の製造・販売	ユネスコエコパーク伝承産品事業に参画する。前年度の温暖化のため仕込みができず在庫がなかったため、今年度は一時中止とした。
軽スポーツ	毎朝の日課として健康体操に取り組む。天気の良い日には日光浴を行い、室内ではボールを使ったゲームや輪投げ等で体を動かした。
学習活動	塗り絵、貼り絵、カード合わせ等を行い、個々の能力に合わせた内容を取り入れて、皆で楽しく活動を行った。
利用者交流	南会津郡内のイベントや交流行事が新型コロナウイルスの影響で中止となり交流の場を持てなかった。
地域交流	今年度は只見町の行事が新型コロナウイルスの影響で軒並み中止となり、出店の場がなかった。
就労支援	就労に関する相談や人間関係等に関する相談への支援を行った。
相談支援	来所してもらったり電話での相談受付を行ったり、みなみあいづ相談支援センターと連携して支援し、解決策を検討した。
健康管理	毎朝検温実施し新型コロナウイルス感染防止に努めた。毎週月曜日と金曜日の朝にバイタルチェックを実施した。（体重、血圧）
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	緊急時や災害時の避難方法について、必要に応じて利用者に説明を行い、消防署より指導を受け、同建物内の只見町社協等と連携を図り、避難誘導や対応について統一性を図った。
職員の資質の向上（研修の強化）	職員の資質向上のためのチェックリストの活用や研修会等へ参加し、それを基にスタッフ会議等で話し合い、意識の共有化を図った。
送迎の支援	町外からの利用者の利用の際の送迎を実施した。
ボランティア育成	毎月ボランティアの方との交流行事を取り入れ、障がい者に対する理解促進と支援体制強化への協力を図った。

## 5、主な行事

5月	大掃除・お花見会	10月	社会見学・食事会
6月	花壇管理（花植え）	11月	只見町文化祭出店
8月	バーベキュー会	12月	クリスマス会
	福祉の里夏まつり大会出店	3月	朝日のいいもの集めちゃった市出店

※上記予定であったが新型コロナの関係で花壇管理とクリスマス会以外実施できず、その他として9月にお月見会、1月に団子さし、2月に節分豆まき実施する。

## 6、研修

外部研修	分野交流研修・障がい福祉研修
内部研修	法人内部研修

※新型コロナの関係で実施できなかった。

## 7、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
5月	駐車場掃除、エアコンフィルター掃除、ガラス磨き、くもの巣取り等を行った。
10月	花壇管理業務終了後、展示館周りの清掃やゴミ拾いを実施した。
11月	エアコンフィルター掃除、駐車場の落ち葉拾い、側溝の土砂上げ等を行った。

## 8、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	毎週月曜日と金曜日の朝礼後、バイタルチェックとして体重、血圧測定を行い、利用者の健康管理の把握に努めた。
(2) 感染症対策	手洗いうがいの実施、登所時や外出後は手を消毒してから入ることを心がけた。

## 9、食品衛生管理

【活動内容】
<p>①調理実習 新型コロナ感染対策のため中止とした。</p> <p>②ボランティア調理実習 新型コロナ感染対策のため中止とした。</p> <p>③地域イベント出店 福祉の里夏まつり（8月）、只見町文化祭（11月）、朝日のいいもの集めちゃった市（3月）に出店し、五目ふかしを販売予定であったが、新型コロナの関係でイベントが中止となった。</p> <p><b>&lt;実施内容&gt;</b></p> <p>●調理実習等で食品を扱う際は、利用者・職員・ボランティアさんに、食中毒や感染症予防のため、エプロン、マスク、三角巾、手袋の着用を徹底した。</p>

## 10、防災

### 【防災活動】

月	実 施 項 目	活 動 内 容
5月	火気器具の確認、避難時の方法説明	避難経路、器具の設置場所の確認、器具の使用状況や不具合等の確認、利用者への説明等を行った。
10月	危険箇所の確認、修繕	室内、通路、廊下等の落下物や転倒物の点検、危険箇所や破損状況を確認し、必要な部分については点検及び修繕の検討を図った。

※避難訓練等については、只見町社協と合同で立案・実施するよう検討した。

## 11、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	危険箇所の把握と、修繕を必要とされる箇所については町へ協議し、修繕を依頼した。
送迎バス等車両の運転	送迎業務を行う職員に対しての安全運転と、全座席のシートベルト着用の徹底を周知した。

# 令和4年度 みなみあいづ障がい者相談センター報告書

## 1. 事業概要

障がい児（者）地域療育等支援事業	【 <b>県委託事業</b> 】障がい児（者）のライフステージに応じた療育・相談等の体制整備、各種福祉サービスの提供の援助や調整等を行い、障がい児（者）及びその家族の福祉の向上を図る。
市町村相談支援事業	【 <b>南会津郡4町村委託事業</b> 】障がい児（者）福祉に関する様々な問題について、本人やご家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言、その他の必要な支援を行うとともに、障がいのある方の権利擁護のに努める。
計画相談支援事業	【 <b>サービス等利用計画作成</b> 】障がい福祉サービスの利用者に対して、指定相談事業者（当事業所）がサービス等利用計画書を作成し、サービスの利用調整を行う。事業所サービスが計画に基づき提供されているかをモニタリングにて確認し報告を行う。
一般相談支援事業	【 <b>地域移行</b> 】施設等入所者又は精神科病院等に入院している精神障がい者に対して、住居の確保やその他の地域生活の活動に関する相談支援。 【 <b>地域定着支援</b> 】地域で単身生活する障がい者等の常時の連絡体制を確保するとともに、地域生活が適切に継続できるよう関係機関と連携しながら支援にあたる。
ペアレントプログラム	【 <b>県委託事業</b> 】障がい児の家庭での療育に関する理解やその手法について、講師を招き年間6回の講座とフォローアップ研修を開催。家庭における適切な子育ての支援方法を身につけていくための事業を実施する。

## 2. 職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
みなみあいづ 障がい者相談 センター	施設長兼管理者	1		1			あかまつ荘等施設長兼務
	相談支援アドバイザー兼相談支援専門員	1		1			正規職員
	相談支援専門員	1	1				
	事務兼相談員	1	1				
	相談員	1	1			パート職員	
合 計		5	3	2			

(令和 5年 3月末現在)

## 3. 実績件数の状況 (令和 5年 3月末現在)

令和 4年度 障がい児(者)地域療育等支援事業 実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計 (件)
I 市町村相談支援体制整備	24	38	9	71
II 専門的な相談支援・指導	123	32	48	203
合 計 (件)	147	70	57	274

令和 4年度 市町村相談支援事業 実績件数 単位：件			
町村名	上半期	下半期	年間合計
南会津町	184	99	283
下郷町	153	87	240
只見町	149	52	201
桧枝岐村	0	0	0
合計	486	238	724

令和 4年度 計画・地域相談支援 実績件数 単位：件													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	29	16	19	38	21	20	21	15	13	28	21	20	261
一般相談	0	0	2	1	0	0	0	9	6	8	6	5	37
合計	29	16	21	39	21	20	21	24	19	36	27	25	298

#### 4. 提供したサービス内容

	活動名	活動内容
1	地域の事業所や行政機関等との連携	多種多様な機関・事業所との連携を図りながら、専門的・個別的な相談及び助言を行い、管内の支援体制の整備に努めた。
2	計画相談作成の支援 (障がい児・者計画相談)	今年度の計画相談年間作成件数は261件の実績となった。(前年度の計画相談年間作成件数は293件)
3	地域移行・地域定着 (一般相談)の実施	地域移行の実績はないが、病院などと連携しながら町村委託相談事業や計画相談事業の範囲で対応した。地域定着においては1名の利用があり、実績としては37件となっている。(前年度の対応件数は11件)
4	自立支援協議会の活動への参加・協力	南会津地方地域自立支援協議会の主要メンバーとして参加するとともに事務局として運営を行った。南会津町、下郷町の自立支援協議会にも委員として参加し、地域の障がい福祉に関する状況や課題について情報提供している。県の自立支援協議会とも連携し、情報収集にも努めた。
5	県委託事業として障がい児(者)地域療育等支援事業による活動	福島県7圏域の取り組みの把握と、管内の関係者会議に出席し状況確認と報告をした。町村や事業所の課題の確認や助言、困難ケースへの助言やサービス調整など、より専門性の高い相談支援に関する業務を実施している。
6	県委託事業としてペアレントプログラム事業・研修会の実施	今年で7回目となった「ペアレントプログラム研修(子育ての手法を保護者・支援者で学ぶグループプログラム)」を9月～3月で合計7回(フォローアップ研修を含む)開催した。
7	南会津郡4町村委託相談事業の丁寧な対応	障がい福祉に関する各種相談や情報提供及び助言等に取り組んだ今年度の年間実績件数は724件となった。(前年度の年間実績件数は、759件)

8	緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルや下郷町防災マップを確認した。避難訓練は実施できなかった。
9	職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、会津圏域相談支援専門員協会勉強会、精神障がい者ワーキンググループへの定期参加や南会津相談支援連絡会を企画し、多職種による事例検討会や情報交換を実施し、地域福祉の向上を目指した。
10	個人情報の取り扱い	相談業務により知り得た個人情報を厳重に取り扱った。

## 5. 主な活動

自立支援協議会の活動	活動内容	実施時期
運営会議	事務局として運営への協力と調整	6月・2月
自立支援協議会全体会	書面決済を取りまとめ文書で報告	7月
行政課題	構成委員として参加	6月、7月、8月、11月、2月
人材育成	相談支援専門員養成研修実施	8月、
地域課題	管内企業への働きかけ	随時

## 6. 研修（会議）

外部研修	研修（会議）内容
5月	相談支援ワーキンググループ（Zoom）、特別支援教育体制促進協議会
6月	ファシリテーター養成研修、基幹相談支援センター検討会、南会津地方地域自立支援協議会運営会議
7月	基幹相談支援センター検討会、相談支援アドバイザー連携会議、南会津地方地域自立支援協議会全体会
8月	成年後見制度に関する南会津圏域ニーズ調査の結果報告と今後の進め方の合意形成会議、中核機関による会津権利擁護・成年後見センター研修（Zoom）、相談支援専門員養成研修実地研修
9月	相談支援専門員現任研修実地研修①・②、相談支援アドバイザー連携会議、成年後見制度に係る下郷町検討会、相双圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修（Zoom）、南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修、相談支援専門員養成研修実地研修、相談支援ワーキンググループ（Zoom）
10月	障害者就業・生活支援センター運営連絡会、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）
11月	福島県基幹相談支援センター連携会議、相談支援ワーキンググループ（Zoom）、成年後見制度利用促進に関する検討会、成年後見制度に関する勉強会、基幹相談支援センター検討会、相談支援専門員研修、障がい児支援者スキルアップ事業南会津方部研修会、南会津町自立支援協議会
12月	精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）、強度行動障がい者支援意見交換会
1月	相談支援ワーキンググループ（Zoom）、会津圏域就労支援会議（Zoom）
2月	特別支援教育体制促進協議会、相談支援アドバイザー連携会議、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）、下郷町自立支援協議会、会津圏域就労支援会議（Zoom）、南会津地方地域自立支援協議会運営会議
3月	職場定着促進のための在職者・求職者交流会
内部研修	研修会などの参加後に伝達講習を行い、情報提供や内容の共有を行った。
自己啓発	自主的な研修会等への参加

## 7. ボランティア活動

環境美化活動に併せ、地域での奉仕活動として事業所周辺のゴミ拾いを実施。(6月、9月、12月)

## 8. 環境美化事業計画

活動時期	活動内容
6月、9月、12月	事務所内・外の清掃(ボランティア活動の奉仕活動と連動)

## 9. 保健衛生

感染症予防対策・安全衛生	新型コロナウイルス感染予防に努めマスクの着用や手指消毒、事業所内の空気清浄などを行うとともに、訪問時の対策や感染拡大時の対応調整を図った。その他インフルエンザ予防接種などを実施した
--------------	--

## 10. 防災

災害(火災、地震、風水害等)の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策として防災マニュアルを確認した。

## 11. 事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	毎朝の業務報告内で必要に応じて状況の確認や検討を図り、対応への配慮を行った。
緊急時等における対応方法	訪問時の緊急対応マニュアルについて確認した。
夜間相談支援体制	専用携帯電話2台にて夜間相談支援に対応した。
車両の運転	安全運転に心掛け、車両整備を定期的実施した。

# 令和4年度 こまどり荘事業報告書

## 1、事業所概要

### (1) 場 所

共同生活援助 こまどり荘 定員 7名	福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田 17
--------------------	-----------------------

### (2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 7名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

## 2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
こまどり荘	管 理 者	1		1			
	生 活 支 援 員	1		1			サービス管理責任者兼務
	世 話 人	1			1		非正規職員：7時間勤務
合 計		3	1	1	1		

(令和5年3月末現在)

## 3、利用者の状況（令和5年3月末現在）

### (1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
こまどり荘	3名	3名	6名

### (2) 障害状況

#### ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
こまどり荘	2名	3名	1名	0名

(重複障害含む)

#### イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
こまどり荘	1名	0名	1名	3名	0名	0名	1名

### (3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
こまどり荘	365日	7名	1,556名	60.9%
こまどり荘体験入所	365日	名	0名	%

## 4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握し、利用者及び家族意向に沿った支援の提供

	を行った。
食事の提供	配食サービス（クックデリ）を利用し、利用者の状態や疾病、ニーズに合った食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者、関係職員、警備会社委託）、安全な生活が送れるよう配慮した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した。
職員の資質向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等で、サービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。定期的にスタッフ会議を実施した。
地域交流	地域での行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

## 5、主な行事

6月	ドライブ旅行（じねえんと行事参加）	10月	ドライブ行事（柳津方面）
7月	にこにこあいの集い参加 田島祇園祭見学	11月	只見町文化祭参加
		12月	クリスマス会（じねえんと行事参加）
8月	お盆の外食	1月	新年会（顔合わせ会）
9月	買い物訓練・外食	2月	只見雪まつり参加
10月	南陽会秋まつり参加		

※上記内容で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんど実施できず。買い物訓練等は受診時に実施するなど対応した。

## 6、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

## 7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を図ると共に、障がい者への理解を深めてもらうよう努めた。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	周辺の環境美化（ゴミ拾い）に努めた。

## 8、環境美化事業

活動時期	活動内容
1 2月	冬囲い設置
3月	冬囲い外し
その他	周辺清掃、ホーム内清掃・トイレ掃除は、職員及び利用者（当番制）で実施

## 9、保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し、利用者が健康で過ごせるように支援した。</li> <li>○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて、速やかな対応に努めた。</li> <li>○利用者の健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）・受診結果を確認し、利用者本人へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。</li> </ul>
(2) 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、ホーム内での発生予防に努めた。</li> <li>○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。</li> </ul>
(3) 安全衛生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。</li> </ul>
(4) 職員の医療的ケアの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。</li> </ul>

## 10、給食管理

【基本方針】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。</li> <li>○利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。</li> <li>○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。</li> </ul>
【内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>①楽しみのある食事を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。</li> <li>・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。</li> </ul> </li> <li>②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、ソフト食等の提供に努めた。</li> </ul> </li> <li>③食の安全に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。</li> </ul> </li> </ul>

※給食については、令和3年9月より配食サービス（クックデリ）を利用している。

## 11、防災

【基本方針】
--------

○災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。

**【 内容 】**

- ・防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした。
- ・防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、利用者への防災知識の説明を実施した。

**【年間防災活動】**

月	月 別 訓 練 内 容	計 画
4 月	防災マニュアルの点検・整備	職員及び消防署による防災マニュアルの確認・点検、防火設備の点検 非常口の確認、非常ベルの確認
10 月	防火設備の確認 利用者への説明	
7 月 1 月	避難訓練	体制整備、避難場所・避難経路の確認、 防火用具の確認

**1 2、事故防止**

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行う等の必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に、利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう、連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	事業所への出退勤時や受診時の送迎時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。